

山口県庁ぐるみ選挙

自民・関係者が関与

元副知事の刑事確定記録で判明

2021年10月の衆院選前に自民党の林芳正外相（山口3区）を支援する同党関係者が林氏のリーフレットと後援会の入金申込書を約3000部も山口県庁に持ち込み、署名に配らせていた。そんな組織的勧説活動の実態が、日本共産党の藤本一規議員が山口地検で開廷した小松一彦元副知事の公選法違反事件の刑事確定記録で分かりました。

この事件で小松は、「公令を受けています。

歴代にも

藤本議員が確認した供述調査によると、小松氏に協力を求めた自民党関係者は、後援会への勧説を「林氏を応援してくれる人を増やすため、衆院選を見据え、月、電話で林氏の後援会事

た準備」だったと証言。歴代の副知事と同様の依頼を入れ金申込書等を配つてください」と述べています。

この人物から指示された別の中間層関係者は同年4月、電話で林氏の後援会事

務所に「リーフレットなどを多めに持ってきてほしい」と連絡。同党県連事務局がある山口県自治会館へ受け取った「3~4個の紙袋が

クに載せた」といいます。

数日後、県連会館の通路

通りから奥の配布部屋に入り、小松氏に「持つてきました。よろしくお願ひします」などと直ぐに、紙袋が段ボール箱を渡した」と証言しています。

県連会館内に設置された署名用

「21年5月中旬の特定の日までに、職員から集めた後

署名入金申込書を提出してほしくと直られた」と振り返っています。そして、勤務時間中に電話や業務用メ

ールで部下を呼び出し、そ

れぞれにリーフや後援会の

入金申込書が入った封筒を渡して「フルマとかはないが、できれば協力してほしい」と求めました。

公認された刑事確定記録によれば、自民党関係者の氏名が黒塗りにされています。

村岡副政典知事も「個人の特定となる」として明らかにしています。

藤本議員は「副知事が刑

事罰を受けて辞任する事態

になり、多くの県民から怒りの声が上がっています。

林氏と山口県連は詫び謝

意を果たすべきだ」と強調

いたします。

「無理はしないでもらい

たいが、できるだけお願い

しているが。

リーフ3000部持ち込み



事件後に検察官から「(小松副知事が3000部のリーフ等を受け取ったと話して)いる」と聞いたとしています。

呼び出し

小松氏から配布を依頼されました。小松氏は同年4月上旬から複数の職員を連れて次のように語りました。

「無理はしないでもらい

たいが、できるだけお願い

しているが。

林芳正外相の後援会への組織化
動議が行われていた山口県

林芳正外相の地元事務所に設置された署名用

申込書